



1. 日 時:平成 25 年 10 月 31 日(木)～11 月 1 日(金)
2. 参加者:ガバナー 田中正規、地区幹事 榊原勝俊
委員長 鈴木元弘、吉原孝彦
石川 博、山下正裕

3. 目 的 : 今回は初動体制について東南海地震に備える為の参考として、復興支援委員会との会談、女川町長との対談により具体的な実情を伺うことを主目的とした。

4. 報 告

- (1) 10/31(木) 12:30～ 仙台RC例会出席
ガバナー歓談、バナー交換
- (2) " 14:00～ 2011-12 復興支援特別委員会との会談
笹氣復興支援特別委員長、
常盤副委員長、
菊池地区代表幹事
初動体制について次の内容をヒヤリングと質疑した。
 - ・ 震災直後の苦勞・ロータリーのあり方
 - ・ 義援金口座の管理
 - ・ 支援要請・受付窓口の一本化及び責任の所在
- (3) 11/1(金) 9:30～ 南三陸防災庁舎の視察
- (4) " 12:30～ 女川町役場にて
女川町長及びボランティアの方々と対談
- (5) " 13:30～ 被災地視察(大川小学校、塩釜、名取町他)



5. 今後の課題

初動体制及びその後の状況について伺った実情の問題点

- ① 初動体制には通信が出来ない。
- ② 物流機能が壊れているため支援物資が集まらない。
※ 水、食糧は行政ルートから集まった。
- ③ 復興支援委員会の設置場所はガバナー事務所を原則とする。
- ④ 義援金と組織を誰がどのように動かしていくか？
また、金と物の配布基準について、
組織の固定化を図り責任を明確にすることが重要で、
最低5年は体制維持することが望ましい。

以上の報告と課題を踏まえて、近い将来に当地区で想定されている
東南海地震に備え、今後のテーマとして討議していきたいと思ひます。

田中ガバナー、榊原地区幹事には強行な日程にも拘わらず
視察にご参加頂き、誠にありがとうございました。

また、参加頂いた各委員の皆様も大変ご苦勞様でした。